

## 真鍋大島のイヌグス



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	まなべおおしまのいぬぐす
所在地	笠岡市真鍋島前大島
指定年月日	昭和32年5月13日
解説	真鍋島の北側にある2つの無人島のうち、南側の「前大島」にあるイヌグスの巨樹。推定樹齢約400年。横に大きく枝を広げており、高さ約20m、枝張り約30mで全国屈指のイヌグスの巨樹である。イヌグスはクスノキ科に属する常緑高木で、別名タブノキともいう。かつては一帯がイヌグスの原生林であったと思われる。
アクセス方法	無人島にあるため、通常の船便はありません。
公開状況	
設備	
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	真鍋大島のイヌグス
よみかた	まなべおおしまのいぬぐす
しょざいち (所在地)	笠岡市真鍋島前大島
していたひ (指定した日)	昭和32年5月13日
せつめい	真鍋島(まなべじま)の無人島(むじんとう)、前大島(まえおおしま)にあるイヌグスの巨樹(きよじゅ)です。樹齡(じゅれい)はおよそ400年とされています。その大きさは日本でも最大級(さいだいきゅう)です。